

港湾振興便り



2026. 7

第230号

* : * :

目 次

* : * :

1 ポートエッセイ ― 世界をつなぐ力 ―

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一～

2 トピック

●瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会が開催されました！

(中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

●玉島発展に向けた起爆剤へ！「みなとオアシス玉島」が新たに登録されました

(中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

●第77回東京みなと祭りへ出典しました

(関東地方整備局 東京港湾事務所・特定離島港湾事務所)

*:

1 ポートエッセイ — 世界をつなぐ力 —

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

*:

先月、新潟市で大規模な国際会議が開催された。「2026 JCI ASPAC新潟大会」である。国内外から約8,000人が新潟市を訪れ、大いににぎわいを見せた。

ASPACは、アジア太平洋地域の青年会議所(JCI)メンバーが集う世界最大級の国際会議である。20代から40代の未来に希望を描く若きリーダーたちが世界各国から集い、国や文化の違いを越えて出会い、語り合い、学び合う場として新潟市が選ばれた。新潟市にとって、「国際化の推進、経済効果の創出、地域ブランドの向上」を同時に実現する大きな機会となった。市民や関係団体、行政が一体となり、できる限りのおもてなしで参加者を迎えた。

大会期間中には、世界情勢の不安定化や各地で続く紛争への懸念を背景に、「GLOBAL PEACE SUMMIT(平和サミット)」が開催された。世界各地の紛争や緊張状態の現状を共有するとともに、青年世代が平和構築にどのように関わるべきか、また平和を自分自身の課題として捉える当事者意識をいかに育むかについて、国境や立場を越えた活発な意見交換が行われた。このサミットは単なる交流の場ではない。アジア太平洋地域の青年が集い、世界平和の実現に向けた対話と協力を深める場であり、連帯の重要性を世界へと発信した。

一方、同じ時期には北中米ワールドカップが開催され、日本でも大きな盛り上がりを見せていた。4年に一度のワールドカップは、世界中の人々が国境を越えて同じ時間を共有する地球規模の祭典である。政治的な緊張や文化の違いを超え、数十億人もの人々が同じ試合に熱狂する。そこには、スポーツが持つ「人と人をつなぐ力」が確かに存在している。

国際サッカー連盟(FIFA)は、サッカーの普及と発展、公正な競技運営に加え、人権尊重や反差別などの社会的責任を果たしながら、「フットボールは世界を一つにする」という理念の実現を目指している。

一見すると、ワールドカップとASPACは規模も目的も異なるイベントである

しかし、その根底には共通する理念があるように感じる。ワールドカップはスポーツを通じて世界をつなぐ。ASPACは対話と交流を通じて地域と世界をつなぐ。

ワールドカップが「世界を一つにする」という理念のもとに開催されるのであれば、ASPACもまた、平和サミットを通じて「人づくり」「意識づくり」「ネットワークづくり」を進め、地域から世界へ平和の輪を広げていく役割を担っている。

今回のASPAC新潟大会は、まさに新潟から世界へ向けて平和の輪を広げる場となったのではないだろうか。世界が分断や対立に直面する今だからこそ、こうした対話と交流の積み重ねが、大きな力になると信じていたい。

首長集合写真

●玉島発展に向けた起爆剤へ！「みなとオアシス玉島」が新たに登録されました

中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

令和8年6月6日(土)に「みなとオアシス玉島」(岡山県倉敷市:水島港)が新規に登録され、中国地方整備局管内では31箇所目(全国では171箇所目)となるみなとオアシスとして活動を開始しました。

新規登録にあたり、登録記念式典が同日「第11回玉島ハーバーフェスティバル」の会場で開催され、登録者である安部港湾局長から「みなとオアシス玉島」の設置者である伊東倉敷市長へ登録証を交付しました。また、吉田中国地方整備局副局長から、運営者である守永玉島商工会議所会頭へみなとオアシスの幟を手交しました。守永会頭からは「今般の登録が玉島発展に向けた起爆剤になると確信している」と発言がありました。

登録記念式典後には、代表施設である旧柚木家住宅(西爽亭)において、安部港湾局長と守永会頭立ち会いのもと、伊東市長から柚木(旧柚木家住宅)住宅管理会長へ登録証が手交されました。

今後は、みなとオアシスという一つの傘の下に、構成施設が一体となったイベントが開催され、みなとを核とした更なる賑わいの創出が期待されます。



登録記念式典での記念撮影



旧柚木家住宅(西爽亭)管理会長へ
登録証手交の様子



「みなとオアシス玉島」の代表施設である
旧柚木家住宅(西爽亭)

●第77回東京みなと祭りへ出展しました

関東地方整備局 東京港湾事務所・特定離島港湾事務所

6月28日(日)に「東京みなと祭」が東京国際クルーズターミナルにて開催されました。東京港の開港記念日である5月20日に合わせて毎年開催されており、今年で77回目となります。

東京みなと祭は東京港が「首都圏を支える港」として、また「身近で親しみやすい港」として広く知っていただくことを目的としています。

当事務所と特定離島港湾事務所合同でブースを出展し、東京港中央防波堤外側地区海上コンテナターミナル整備事業、東京港臨港道路南北線(海の森トンネル)事業、特定離島港湾施設の整備に関する事業について説明しました。

今年度は台風の影響もあり、27日(土)は中止、28日(日)は雨模様の中でしたが、多くの方がイベントに訪れ、当事務所オリジナルキャラクターである沈埋函の構造をモチーフとした妖精「ちんまいちゃん」や関東地方整備局港湾空港部がコラボしている「仕事猫」を通じて東京港や特定離島における事業、現場安全の重要性についてPRしました。



ブース出展の様子



ステージプログラム

「官公庁マスコットキャラクター大集合」

::*: 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先 : *:*:*:*:*:

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL:03-5776-0630 FAX:03-5776-0631

e-mail:bcf06323@nifty.com

*: